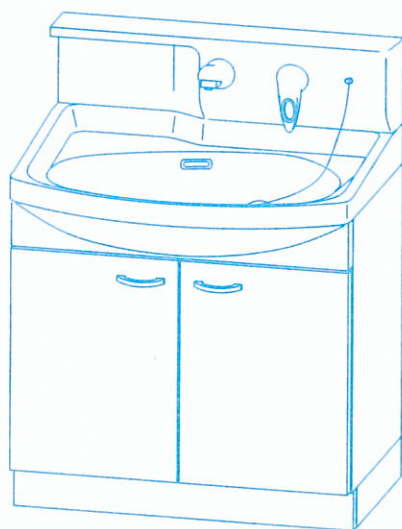
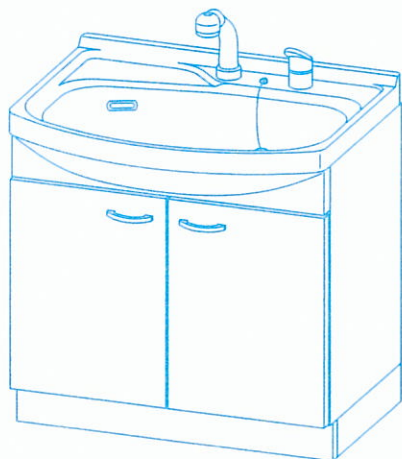
タカラ ホーロー洗面化粧台

取扱説明書 保証書 （お客様へ）
設置説明書 （設置される方へ）

もくじ

取扱説明書 ページ

設置説明書

お 客 様 へ　このたびは、タカラホーロー洗面化粧台をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでもご覧になれる所に大切に保管してください。

設置される方へ　設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

タカラスタンダード株式会社

取扱説明書（お客様へ）

1．使用上のご注意

安全上のご注意（必ずお守りください）

・ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。
・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
・組み込まれる機器・器具などについては、それぞれの取扱説明書及び本体に表示されている事項をお守りください。
・表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

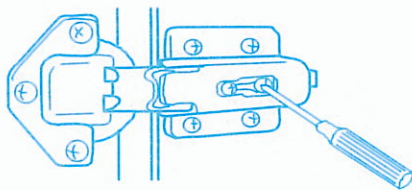
⚠ 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

・お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

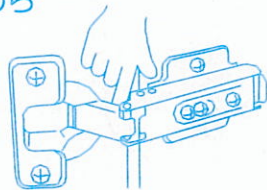
このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠注意

・扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジを締めなおしてください。

・扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

・扉や取っ手にぶら下がったり、扉を大きく開けすぎないでください。

・扉や取っ手がはずれてケガをするおそれがあります。

・扉開閉時に丁番にさわらないでください。

・丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

・固形または粉末の塩素系洗浄剤、漂白剤は使ったり近づけたりしないでください。

・水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食、劣化の原因になります。保管の場所や方法に注意してください。
その他の洗浄剤、漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

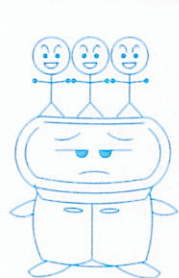
・組み込まれる機器、水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項をお守りください。

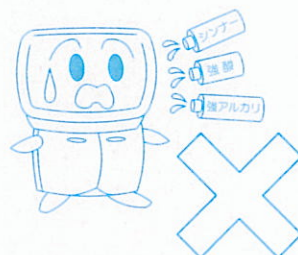
・使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

・部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかに修理を依頼してください。小さな部品の場合も、同様に修理を依頼してください。

・そのまま放置すると思わぬ事故（ケガや誤飲）がおこる可能性があります。

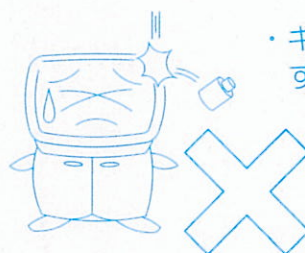
快適にご使用いただくためにお守りください。

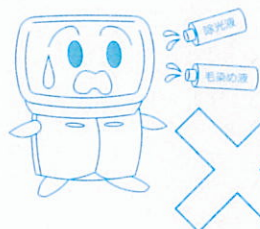
・ボウルの上に乗らないでください。

・すべって落ちたり、キャビネットが転倒してケガをするおそれがあります。

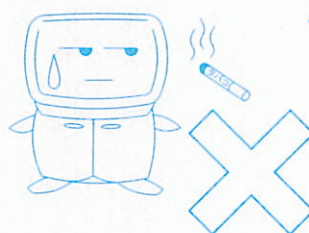
・強い酸性やアルカリ性の薬品やシンナー等の溶剤をボウルに流さないでください。

・ボウル表面が変色したり、排水パイプが損傷して水漏れ事故が発生するおそれがあります。

・シャワーホースを無理に引っぱったり曲げたりしないでください。

・ホースを破損する原因になります。

・ボウル、キャビネットに硬い物、鋭利な物を当てたり落としたりしないでください。

・キズ、カケ等が発生するおそれがあります。

・化粧品（マニキュア除光液、毛染め液、ジェル系クレンジング剤など）をキャビネットなどにこぼさないでください。こぼしたらすぐにふき取ってください。

・表面の光沢を損ねたり、溶かしたりするおそれがあります。

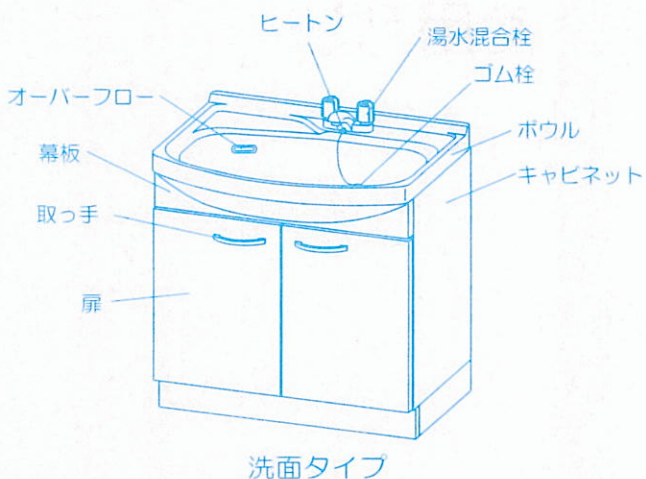
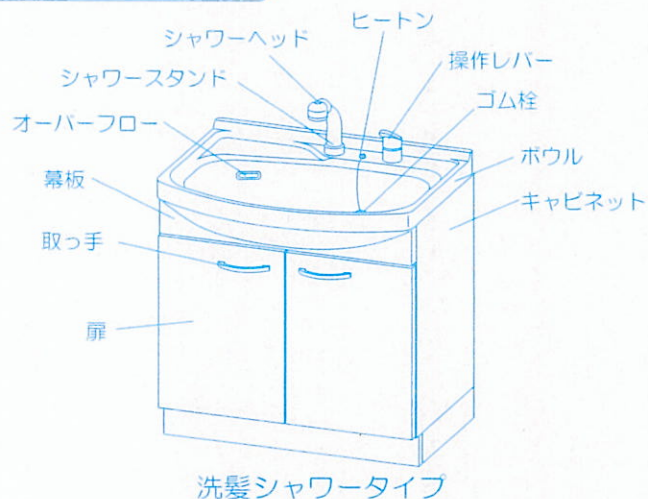
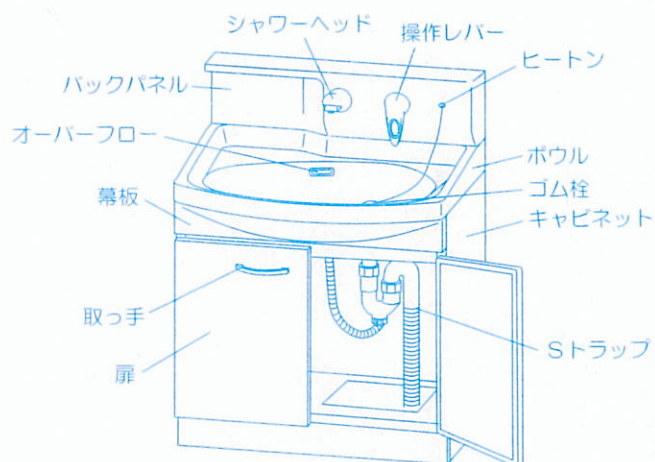
・カウンターやボウルの上に火のついたタバコをおかないでください。

・コゲ跡がつくおそれがあります。

2. 各部の名称

デッキ水栓タイプ

※図は間口 75cm を示す。

洗髪シャワータイプ

洗面タイプ

壁出水栓タイプ

3. 仕 様

■デッキ水栓タイプ

製品寸法 ( )はカウンター高さ80cmの場合	間口60cmタイプ	間口600mm×奥行550mm×高さ770(820)mm
	間口75cmタイプ	間口750mm×奥行600mm×高さ770(820)mm
ボウル（容量）	間口60cmタイプ	鋼板ホーロー一体型（12ℓ）
	間口75cmタイプ	鋼板ホーロー一体型（21ℓ）
排水金具		ヘアーキャッチャー付ゴム栓式排水栓
排水トラップ		Sトラップ
キャビネット・扉		鋼板ホーロー他
幕板		合成樹脂製

■壁出水栓タイプ

製品寸法 ( )はカウンター高さ80cmの場合	間口750mm×奥行600mm×高さ770(820)mm
ボウル（容量）	鋼板ホーロー一体型（20ℓ）
排水金具	ヘアーキャッチャー付ゴム栓式排水栓
排水トラップ	Sトラップ
キャビネット・扉	鋼板ホーロー他
幕板	合成樹脂製
バックパネル	合成樹脂製

4. 使用方法

水栓の使いかた

・水栓の取扱説明書にしたがってご使用ください。

水栓の凍結予防のしかた

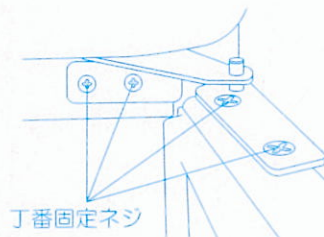
（寒冷地仕様の場合のみ）

・凍結のおそれのある場合、水栓の取扱説明書にしたがって水抜き作業を行い、水栓の凍結を予防してください。

5. 調整のしかた

※調整にはプラスドライバーが必要です。

・扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直しを行ってください。

●丁番の調整のしかた
扉側、またはキャビネット側の丁番固定ネジをしっかり締めてください。

6. お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。
なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

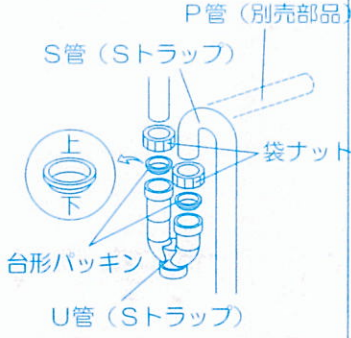
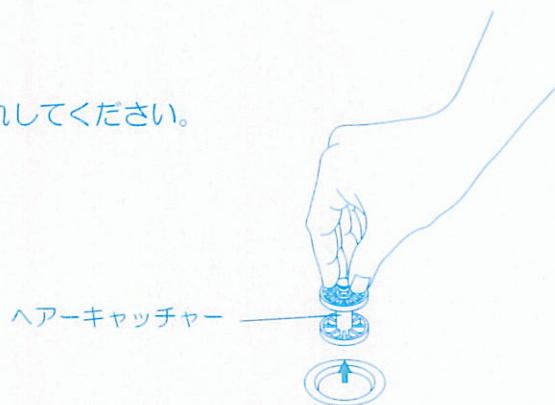
ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。

ボウル、キャビネット、扉のお手入れ

・水を含ませた布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。
その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

水栓のお手入れ

・水栓の取扱説明書にしたがってお手入れしてください。

ヘアーキャッチャーのお手入れ

・ヘアーキャッチャーを引き抜いてお手入れしてください。

7.「故障かな？」と思ったら

アフターサービスをお申し付けになる前に、つぎの点をお調べください。

現象	確認事項	処置
水栓からの吐水量が少ない。(出ない)	止水栓が閉じられていませんか。	止水栓を開いてください。
	水栓に異常はないですか。	水栓の取扱説明書で確認して、その箇所の点検処理を依頼してください。
水栓から高温、低温の一方しか湯水が出ない。	止水栓が閉じられていませんか。	止水栓を開いてください。
	給水、給湯源（給湯器）は正常に作動していますか。	異常があれば、その箇所の点検処理を依頼してください。
排水に時間がかかりすぎる。	Ｓトラップの中に何かつまっていませんか。	ＳトラップのＵ管をはずして、つまったものを取り除いてください。トラップ内には水が溜まっていますので、Ｕ管をはずす際はバケツ等で受けてください。
		Ｓトラップのキャップをはずし、つまった物を取り除いてください。トラップ内には水が溜まっていますので、キャップをはずす際はバケツ等で受けてください。
	排水口のヘアーキャッチャー部分にゴミや髪の毛がたまっていませんか。	ヘアーキャッチャー部をはずし、たまったゴミや髪の毛を取り除いてください。（P5 参照）
扉が傾いたりガタついたりする。	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形したりしていませんか。	ネジがゆるんでいる場合は、締め直してください。それでも直らない場合や丁番が変形している場合は、点検修理を依頼してください。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときはお買い求めの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

8. アフターサービス

タカラ製品のアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

0120-557-910　受付時間　9：00～18：00（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

（1）製品名　洗面化粧台
（2）機種名（キャビネット内側面の検査合格証に表示しています。）
（3）故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
（4）ご住所・ご氏名・電話番号・道順

●修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

設置説明書（設置される方へ）

1．設置される方へのお願い

この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。

・給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
・本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布などをかぶせて保護してください。
・**設置後は、水栓取扱説明書とこの説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい場所に紛失しないように納めてください。**
・**梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。**

2．組立配管図

注１）図はカウンター高さ７５ｃｍの場合の寸法です。
カウンター高さが８０ｃｍの場合、※部の寸法は＋５０mmになります。

キャビネット
間口
水栓
正面図
上面図
デッキ水栓タイプ
75cm
洗面タイプ
壁面給湯位置
（単水栓の場合は不要）
（電気温水器設置の場合は不要）
下台固定用穴位置
壁面給水位置
壁面排水位置
（電気温水器設置の場合は不可）
床面給湯位置
（単水栓の場合は不要）
（電気温水器設置の場合は不要）
床面給水位置
床面排水位置
ボウルセンター
洗髪シャワータイプ
壁面給湯位置
（電気温水器設置の場合は不要）
下台固定用穴位置
壁面給水位置
壁面排水位置
（電気温水器設置の場合は不可）
床面給湯位置
（電気温水器設置の場合は不要）
床面給水位置
床面排水位置
ボウルセンター
壁出水栓タイプ
75cm
洗髪シャワータイプ
パネル固定用穴位置
下台固定用穴位置
壁面排水位置
（電気温水器設置の場合は不可）
壁面給湯位置
（電気温水器設置の場合は不要）
壁面給水位置
床面排水位置
床面給水位置
床面給湯位置
（電気温水器設置の場合は不要）
ボウルセンター

3. 設置上のご注意

設置前のご確認

・取付用桟木が、壁面の指定位置に設置されていることを確認してください。
・屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。（P7～8 組立配管図参照）

必ずお守りください（安全上のご注意）

・設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
・表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

・お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

・設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

⚠注意

・キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行ってください。

・固定方法を誤ると使用中にキャビネットが転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。

・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。

・扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。

・排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行ってください。

・接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。

・排水パイプはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。

・使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。

・排水パイプと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行ってください。

・接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。

・組み込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。

・設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。

快適にご使用いただくためにお守りください。

・工具類等をキャビネットに落としたり当てたりしないでください。

・キズがついたり欠けたりするおそれがあります。

・浴室内等の湿気の多い場所への設置は避けてください。

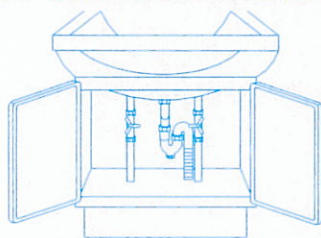
・製品は早く傷むおそれがあります。

・直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置は避けてください。

・プラスチック部品や塗装部品が変色するおそれがあります。

・設置する時にカウンターやボウルに載らないでください

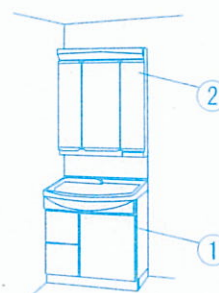
・ボウルにキズがつくおそれがあります。

・水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため、必ず止水栓をご使用ください。

4. 設置手順

■洗面化粧台の設置順序

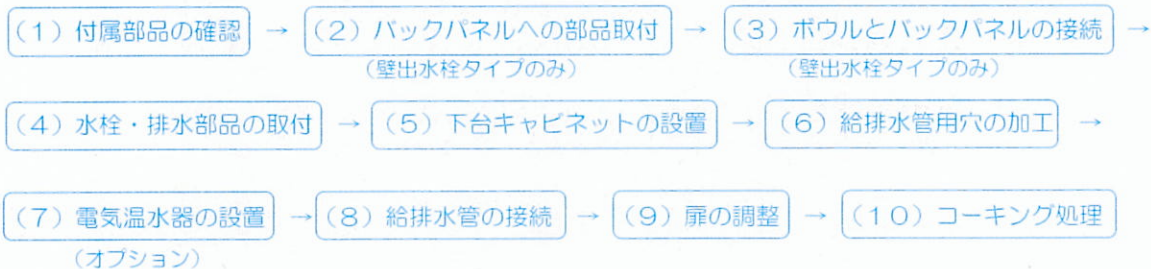
洗面化粧台の設置は下記の順序にしたがってください。

①下台キャビネット　→　②ミラーキャビネット

※ミラーキャビネットの設置は、付属している設置説明書にしたがってください。

洗面下台は下記の順序にしたがって設置作業をおこなってください。
※印はオプション部材の設置です。

（1）付属部品の確認 → （2）バックパネルへの部品取付（壁出水栓タイプのみ） → （3）ボウルとバックパネルの接続（壁出水栓タイプのみ） →

（4）水栓・排水部品の取付 → （5）下台キャビネットの設置 → （6）給排水管用穴の加工 →

（7）電気温水器の設置（オプション） → （8）給排水管の接続 → （9）扉の調整 → （10）コーキング処理

（1）付属部品の確認

・付属部品が揃っているか確認してください。
本書に記載以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

■デッキ水栓タイプ

小物セット	取扱・設置説明書	1 部	
	固定用スリーブ	2 個	
	トラスタッピンネジ 4×45	2 本	
同梱部品	Sトラップ	1 個	
	排水管アダプター	1 個	

■壁出水栓タイプ
下台キャビネット

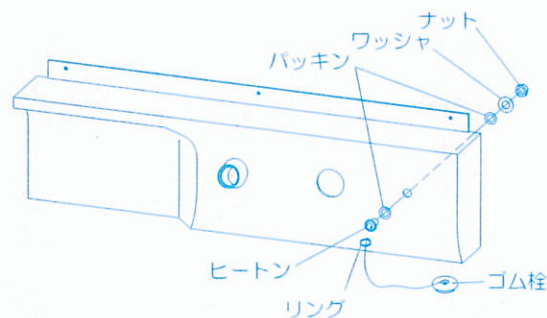
小物セット	取扱・設置説明書	1 部	
	固定用スリーブ	2 個	
	トラスタッピンネジ 4×45	2 本	
	トラスタッピンネジ 4.5×25	3 本	
	カヌークリップ	5 個	
同梱部品	Sトラップ	1 個	
	排水管アダプター	1 個	
	ヒートン	1 個	

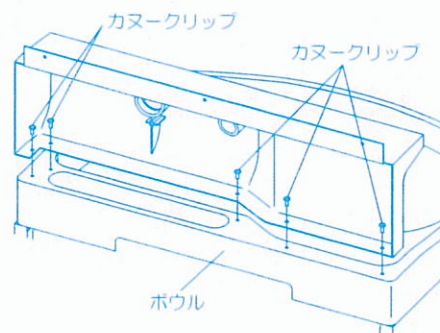
バックパネル

同梱部品	バックパネル本体	1 個	

(2) バックパネルへの部品取付　※壁出水栓タイプのみ

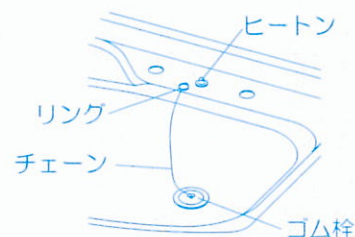
①ヒートンをバックパネルに取付けます。

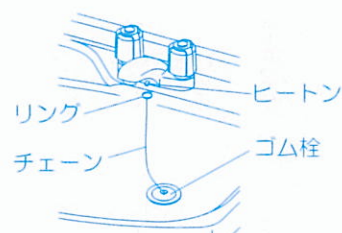
②ヒートンにゴム栓のリングを接続します。

(3) ボウルとバックパネルの接続　※壁出水栓タイプのみ

①バックパネルを下台キャビネットのボウルの上に載せ、
カヌークリップでしっかり取付けます。

(4) 水栓・排水部品の取付

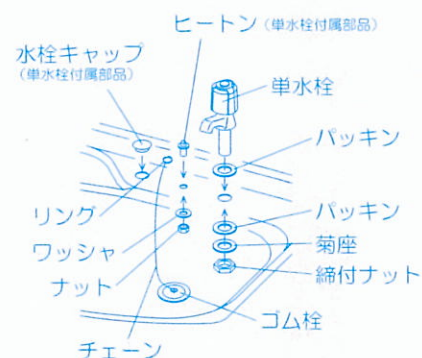
●壁出水栓タイプの場合
・水栓付属の説明書にしたがって、水栓をバックパネルに取付けます。

●デッキ水栓タイプ（洗髪シャワータイプ）の場合
①ヒートンにゴム栓のリングを接続します。

②水栓付属の説明書にしたがって、水栓をボウルに設置します。

●デッキ水栓タイプ（洗面タイプ）の場合
①水栓のヒートンにゴム栓のリングを接続します。

②水栓付属の説明書にしたがって、水栓をボウルに設置します。

●デッキ水栓タイプ（単水栓タイプ）の場合
①ヒートンにゴム栓のリングを接続してから、ボウルに取付けます。

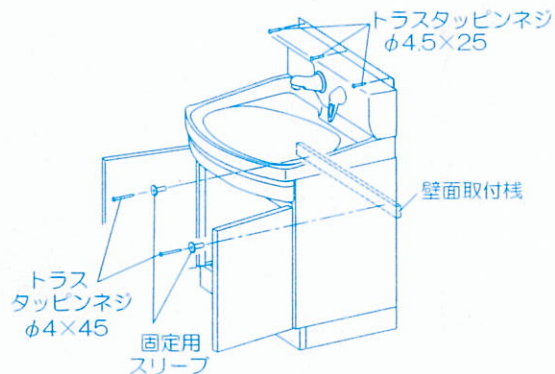
②水栓キャップにシリコン（クリア）を全周に塗布して、ボウルに
取付けます。

③水栓をボウルに設置します。

（5）下台キャビネットの設置

①下台キャビネットを所定の位置に置きます。

②キャビネット内部より、固定用スリーブを介してネジで壁面に固定します。

> ご注意：床が水平でない場合には、すき間に詰め物をして、ガタつきのないようにしてください。

③バックパネルをネジで壁面に固定します。
（壁出水栓タイプのみ）

（6）給排水管用穴の加工

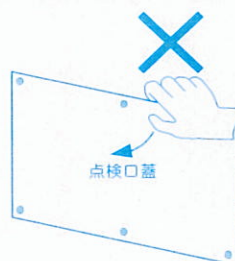
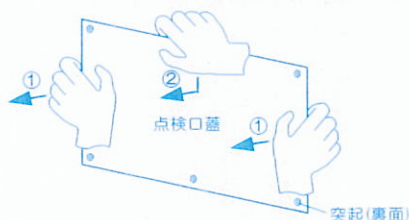
1．点検口蓋の取りはずし

●底板の点検口蓋

手前側の凹み３箇所部分を持ち上げ、点検口蓋をはずしてください。

> ご注意：右図のように片側を持って無理にはずさないでください。
> 突起が折れるおそれがあります。

●後板の点検口蓋

①両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて４隅の突起をはずしてください。
②上辺中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いて点検口蓋をはずしてください。

> ご注意：左図のように指示と異なる部分を持って無理にはずさないでください。
> 突起が折れるおそれがあります。

2．給排水の接続の前作業

現場の配管位置に合わせて、点検口蓋に必要な穴（給水管、給湯管、排水管用）を加工してください。
床より配管されている場合…底板点検口蓋に穴加工
壁より配管されている場合…後板点検口蓋に穴加工

（7）電気温水器の設置　※オプション

・電気温水器付属の説明書にしたがって電気温水器を設置してください。

（8）給排水管の接続

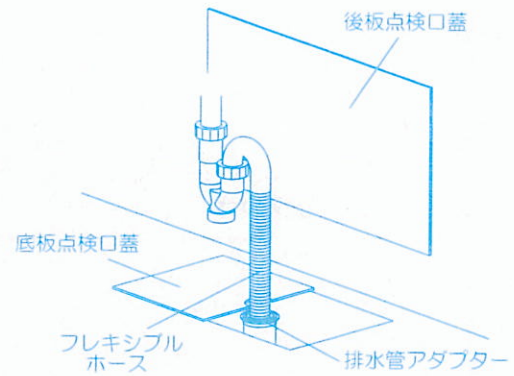
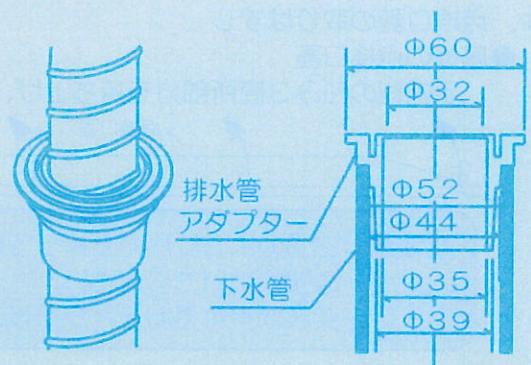
1．給水管・給湯管の接続

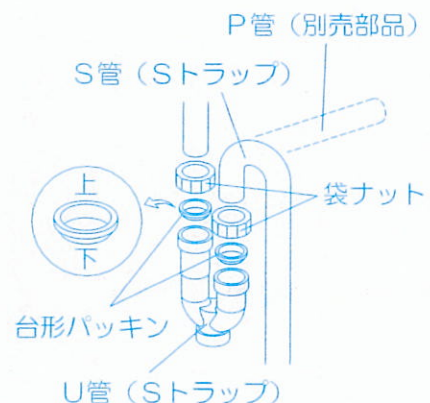
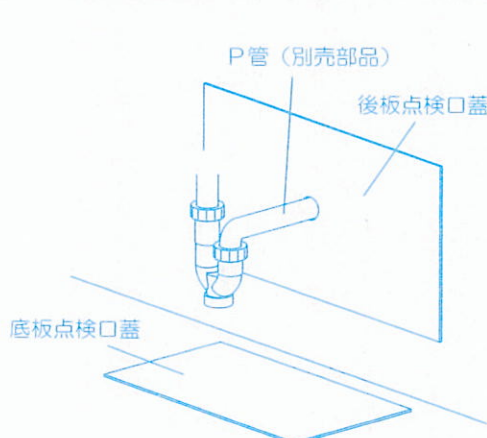
①点検口蓋にあけた穴に給水管、給湯管を通して、止水栓を給水管、給湯管に接続してください。
②水栓付属の説明書にしたがって水栓と止水栓を接続してください。

2．排水管の接続

作業前に床排水か壁排水かを確認してください。壁排水の場合はＰ管（別売部品）が必要です。

●床排水の場合

①底板点検口蓋の穴にトラップのフレキシブルホース部を通してください。
②フレキシブルホースの先端に排水管アダプターを通し、排水管に差込んだ後に隙間のないように完全シールしてください。
③底板点検口蓋を底板に取付けてください。
④後板点検口蓋を後板に取付けてください。

ご注意：
・排水管アダプターは、内径４０、４４、５１の３種類の排水管に接続できます。
すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。
・Ｕ管、Ｐ管の袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締めすぎないでください。
袋ナットが破損するおそれがあります。
・Ｕ管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、歪んだ状態で締め付けないでください。
水漏れの原因になります。

●壁排水の場合

①後板点検口蓋にあけた穴にＰ管を通してください。
②建物側の排水管にＰ管を差し込んだ後、Ｐ管とＳトラップのＵ管を確実に接続してください。
③Ｐ管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
④底板点検口蓋を底板に取付けてください。
⑤後板点検口蓋を後板に取付けてください。

ご注意：・パッキンの取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。
水漏れの原因になります。
・金属製のナット類は、十分締め付けてください。
締め付け不足の場合、水漏れの原因になります。

3．凍結防止
結露防止が必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理を施してください。

（9）扉の調整

・扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。
不備がある場合は、「取扱説明書　5．調整のしかた（P5）」にしたがって
調整してください。

（10）コーキング処理

・下台キャビネットに続いてミラーキャビネットなどの設置も完了しましたら、
外観向上および防水処理のため、ボウルと洗面パネル間の目地などを
シリコーン材（白）でコーキング処理を行ってください。

5．点検・仕上げ

●安全点検

・取付部材がしっかり固定されているかを確認してください。
・水栓の取扱説明書にしたがって、配管内のゴミや油分を十分に洗い流してください。また、サーモスタット付シャワー水栓の場合は止水栓の上にあるストレーナーの清掃も行ってください。
・配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

●仕上げ

・設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
・落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。
その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

6．お願い事項

●商品の養生

すべての作業が完了しましたら、ボウルおよびキャビネットを保護養生してください。

●取扱説明書の保管・引渡し

洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引き渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

保　証　書

	お名前	様
お客様	ご住所　〒	
	TEL（　　　）	
販売店		㊞
	TEL（　　　）	
お買上日	年　　月　　日	

見本

品　名	洗面ユニット
保証期間	お買い上げ日から １年間 （水栓金具：２年間）

●本保証書は、当社の洗面ユニットで使用する製品及びそれに付帯する部品を対象とします。
●取扱説明書に保証書が添付されている商品関連については、各々の保証記載内容によります。

<無料修理規定>

1、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店又はP6に記載のフリーダイヤルに出張修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。
2、ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店又はP6に記載のフリーダイヤルへご相談ください。
3、保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（１）一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
（２）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（３）鉄分などによるもらいサビ及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷
（４）メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解等に起因する不具合
（５）お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（６）建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象
（７）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合
（８）ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
（９）火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
（１０）消耗部品の消耗に起因する不具合
（１１）異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（１２）水栓金具において、砂やゴミ等の異物流入による不具合
（１３）温泉水、井戸水などにあって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合
（１４）凍結に起因する不具合
（１５）本書の提示がない場合
（１６）本書にお客様名、販売店名、お買い上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
（１７）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4、本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
5、本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店又はP6に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

タカラスタンダード株式会社
本社　〒536-8536　大阪市城東区鴫野東１丁目２番１号
TEL(06)6962-1531(代)

10153986
2H-2
取扱設置説明書 BSH(2)